

事務事業評価シート

(評価対象年度：令和2年度)

1. 基本的事項【PLAN】

①事務事業名		ため池改修事業			②事業番号		3409		
③事業類型		4. 施設等維持管理事業		④開始年度	昭和 45 年度	⑤終了予定年度	年度	○ 設定なし	
⑥根拠法令等		法令	○ 条例	○ 規則	要綱	計画等	その他	法令等の名称: 泉南市土地改良事業分担金条例	
⑦実施手法		○ 直営	全部委託	一部委託	○ 補助・負担	その他			
⑧関連予算科目コード		款	5	項	1	目	7	細目	1
⑨担当部署		⑩担当課名						会計	一般会計
市民生活環境部		産業観光課							

2. 事務事業の現状把握【DO】

〔1〕事務事業の目的・事業内容

(1) 対象(誰、何に対して事業を行うのか)	対象指標(対象者数を表す指標)	単位
① ため池・水利権者・地域住民	① 整備が必要なため池	池数
②	②	
(2) 事業内容(具体的な事務事業の内容、どのような方法で実施しているか)	活動指標(活動の量を表す指標)	単位
・府営土地改良事業 補助率 国50%、府25%、市18%、地元7% 市および地元負担分を負担金として大阪府へ支出する。 工事は大阪府が発注する。 ・ハザードマップの作成(H25~) 補助率 国100% 水防値や受益戸数などを総合的に判断し、ため池の耐震診断等を行い、ハザードマップの作成を行う。	① 改修、調査した池	池数
	②	
	③	
(3) 意図(対象をどのような状態にしたいか、何をねらっているのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
・かんがい用水源としての正常な機能回復と、降雨時の一時的な出水量の増大に際して貯水するという地域防災における池周辺の安全確保。	① 堤体整備延長	m
	② 計算式	
	③ 計算式	
(4) 結果(対象を意図する状態にすることで、何に結びつか。上位施策との関連)	総合計画体系上の位置付け	
・農業生産基盤の整備による生産性の向上。	政策(章)	5 快適で活気にあふれ、環境にやさしいまち
	施策大(節)	1 豊かな自然環境を維持・向上し、うるおいあふれるまちをめざします
	施策中	1 河川・ため池の保全と活用
	施策小	3 ため池の保全と活用

〔2〕各種指標値、事業費の推移

指標名	単位	H30実績	R1実績	R2実績	R3見込	R3目標	指標値の推移における 特殊要因などの説明
対象指標① 整備が必要なため池	池数	20	20	20	20	20	—
対象指標②							
活動指標① 改修、調査した池	池数	18	20	20	20	20	
活動指標②							
活動指標③							
成果指標① 堤体整備延長	m	107	107	—	—	—	
成果指標②							
成果指標③							
事業費							
投入人員							
正職員	人	0.27	0.27	0.27	0.27	0.27	
任期付職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
臨時職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
事業費							R2の事業費減は 改修予定のため池が ないため。
人件費(投入人員*単価)	千円	2,189	2,082	2,061	2,061	2,061	
直接事業費	千円	27,696	12,517	6,985	0	0	
総事業費	千円	29,885	14,599	9,046	2,061	2,061	
財源内訳							
国庫支出金	千円	6,750	3,520	8,500	0	0	
府支出金	千円	0	0	0	0	0	
受益者負担金	千円	5,864	2,830	0	0	0	
その他特定財源	千円	0	0	0	0	0	
一般財源	千円	17,271	8,249	546	2,061	2,061	

〔3〕事務事業開始の経緯、状況の変化、評価結果への対応

①この事業を開始したきっかけは何か。	老朽化したため池の整備、改修及び減災対策の推進及び地域の防災意識の向上。
②開始から現在までこの事務事業を取り巻く状況は、どのように変化したか。また、今後どのように変化していくと考えられるか。	これまでも老朽ため池の改修を進めてきたが、今後も老朽ため池は増えていくと考えられることから引き続きため池の改修を進める。また、近年の防災意識の高まりもあり、ため池ハザードマップの作成に取り組んできているが、今後も下流域市民の防災意識の向上につなげるためにもハザードマップの作成に取り組む必要がある。
③前年度の評価結果を受けて行った改革・改善の取組はあるか。	—

